

トランシーノEX 使用者向医薬品ガイド

ご使用前に必ずお読み下さい

しみ(肝斑に限る)改善薬

トランシーノ[®]EX

第1類医薬品



このお薬は？

販売名	トランシーノEX	
成分・分量 (1日量・4錠中)	トラネキサム酸	750mg
	L-システイン	240mg
	アスコルビン酸(ビタミンC)	300mg
	ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB ₆)	6mg
	パントテン酸カルシウム	24mg
	ニコチン酸アミド	40mg

このお薬を服用する前に、確認すべきことは？

次の人は、このお薬を服用することはできません。

- ☐ 透析療法を受けている人(けいれんがあらわれることがあります)
- ☐ トラネキサム酸を含有する内服薬を服用している人
- ☐ 15歳未満の小児

次の人は、このお薬を服用する際に注意が必要です。
購入される前に医師又は薬剤師にご相談下さい。

- ☐ 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- ☐ 妊婦又は妊娠していると思われる人
- ☐ 授乳中の人
- ☐ 55歳以上の人
- ☐ 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- ☐ 血栓症のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎、肺塞栓症等)
- ☐ 血栓症を起こすおそれのある人
 - 以前に血栓症にかかったことがある人
 - 家族が血栓症を起こした人
 - 医師から先天性の凝固異常症を指摘されたことがある人
 - 経口避妊薬・ホルモン補充療法などの血栓症を起こすおそれのある薬を服用している人
- ☐ 次の診断を受けた人
 - 腎臓病

- ご自分のしみが、肝斑かどうかの識別が難しい場合、また、色が黒ずんでおり色調が不均一で、表面が隆起したようなしみ状のものがある場合は専門の皮膚科医にご相談下さい。

このお薬の効果は？

- このお薬は、しみ(肝斑に限る)改善薬です。
- このお薬は、肝斑の原因であるメラニンを生成する細胞メラノサイトを活性化するメラノサイト活性化因子の情報伝達をブロックすることにより、メラニンの生成を抑え、肝斑を改善します。
- このお薬は、次の症状の方が使用できます。
しみ(肝斑に限る)

肝斑とは

かん ばん
肝 斑



典型的な例



広範囲に出た例

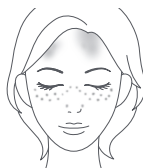
肝斑(かんばん)とは、女性の顔面に多く生じるしみで、妊娠、経口避妊薬などにより誘発あるいは悪化するので、女性ホルモンが関連して発症するといわれています。紫外線で少し悪化します。薄い褐色でやや大きく、ほほ骨に沿って左右対称にできるのが特徴的です。高齢者ではほとんど見られないといわれています。また、レーザー治療で悪化するといわれています。

そばかす じゃくらんはん
(雀卵斑)



子どものころからある小さい色素斑です。肝斑ではありません。

対称性真皮メラノサイトーシス



肝斑ではありません。

典型的な例



小さな丸い色素斑が散在性に見えます。季節によって薄くなったり濃くなったり等の変動が少ない色素斑です。そばかすに似ています。肝斑ではありません。

軽症例 1



小さな丸い色素斑が集まって見えます。季節による変動は少なく加齢により悪化します。肝斑ではありません。

軽症例 2

※その他、肝斑に似ているしみとして、リール黒皮症といわれる、化粧品のくり返し使用でできる色素沈着等もありますが、肝斑ではありません。

- しみの改善の程度には個人差があり、本剤は誰にでも効果があるわけではありません。また、効果があつた場合も、しみが完全に消えるわけではありません。

このお薬の使い方は？

- 服用量及び回数
成人(15歳以上)は、1回2錠、1日2回食後に服用して下さい。
- どのように服用するか？
コップ1杯程度の水又はお湯で服用して下さい。
- 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)
- 2カ月間を超えて続けて服用しないで下さい。ただし、お薬の効果がわかる目安として1カ月程度は服用しましょう。
- 服用中止後に再発した場合は、また服用できますが、再開までに最低2カ月はあけて下さい。また、服用を再開してから2カ月間を超えて続けて服用しないで下さい。



このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？

- このお薬は、血栓(血液が固まったもの)を溶けにくくする作用のある成分を含んでいます。そのため、血栓症の初期症状
 - 激しい頭痛・舌のむつれ
 - 10分以上続く締め付けられるような胸の痛み・突然の息切れ
 - 片足のふくらはぎの痛み・むくみ
 - 原因不明の突然の呼吸困難・胸の痛みを伴う一過性の意識消失等に注意して下さい。
- このお薬の服用により、尿及び便の検査値に影響を与えることがあります。医師の検査を受ける場合は、ビタミンCを含有する製剤を服用していることを医師に知らせて下さい。

副作用は？

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
- | 関係部位 | 症 状 |
|-------|--------------------|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、腹痛、食欲不振、胸やけ |
| 循環器 | 動悸 |
| 精神神経系 | 頭痛、めまい |
- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 下痢

このお薬に含まれているのは？

成分・分量 (1日量・4錠中)	トラネキサム酸	750mg
	L-システイン	240mg
	アスコルビン酸(ビタミンC)	300mg
	ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB ₆)	6mg
	パントテン酸カルシウム	24mg
	ニコチン酸アミド	40mg
添加物	乳酸Ca、セルロース、クロスカルメロースNa、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、タルク、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナウバロウ	

その他

- このお薬の保管方法は？
 - 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
 - 小児の手の届かない所に保管して下さい。
 - 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります)
- このお薬の取扱い上の注意は？
 - 内袋(アルミ袋)の中に活性炭シートが入っています。服用しないで下さい。
 - 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また、使用期限内であっても内袋(アルミ袋)開封後は速やかに使用して下さい。

Q & A

- Q1 「肝斑」以外のしみには効かないのですか？
A1 トランシーノEXの効能・効果は「しみ(肝斑に限る)」となっております。肝斑に対しては改善効果を確認しておりますが、肝斑以外のしみに対しては、有効性・安全性を示す十分なデータがありませんので、使用しないで下さい。
- Q2 どうして2カ月以上服用してはいけないのですか？
A2 本剤とトラネキサム酸及び用法・用量が同一の「トランシーノII」で実施した臨床試験では2カ月で十分な効果が認められましたので、2カ月服用していただければ十分と考えます。本剤はしみの一種である肝斑の改善薬であり、漫然と服用し続けたいという方もいらっしゃるかもしれませんが、2カ月以上続けて服用した場合の有効性・安全性については、十分なデータが確認できておりませんので、それ以上は続けて服用しないで下さい。2カ月間の服用で効果が感じられなかったという方は、肝斑ではない可能性もございますので、それ以上の服用はおすすめできません。
- Q3 以前にトランシーノ・トランシーノII・トランシーノEXを服用していましたが、肝斑が薄くなってきたので服用をやめていたら、また肝斑が出てきました。また服用してもいいですか？
A3 以前の服用をやめてから、2カ月以上経過していれば、また服用を開始できます。
- Q4 トラネキサム酸を含む他のお薬や薬用化粧品と一緒に使っても大丈夫ですか？
A4 トラネキサム酸が配合されている風邪薬や口内炎のお薬等とは同時に服用しないで下さい。トラネキサム酸が配合されている風邪薬等のお薬を服用される場合は、トランシーノEXの服用をお休みし、そのお薬の服用をやめた後にトランシーノEXを再開して下さい。医療機関でお薬を処方されている方は、医師にご相談下さい。薬用化粧品との併用については、薬用化粧品を中止せずにトラネキサム酸を処方する場合があります。薬用化粧品に配合されているトラネキサム酸の配合量は数%程度であり、また1回に使用する量も数g程度ですので、通常の使用において、本剤の血中濃度に大きく影響することは考えにくく、問題ありません。
- Q5 高齢者は服用してはいけないのですか？
A5 55歳以上の方は注意が必要です。一般的に高齢者では腎臓の機能が低下していると考えられます。このお薬は腎臓から排泄されるお薬ですので、注意して服用して下さい。また、一般的に血栓症を発症するリスクは、50代後半から増加します。よって、ご家族に血栓症の方がいたり、以前に血栓症にかかったことがあるなど、このお薬の添付文書に記載されている内容に心当たりがある場合は、このお薬を服用せず、お近くの医療機関にご相談下さい。
- Q6 血栓ができやすくなるお薬ですか？
A6 そのような作用はありません。健康な状態の血液を固まらせる作用はありませんが、もともと血栓があった場合は、それを安定化してしまう作用があります。このため、血栓症のある方や、ご家族に血栓症の方がいらっしゃる場合は、服用される前に医師又は薬剤師にご相談下さい。

このお薬についてのお問い合わせは？

本製品についてより詳しい質問がある場合は、お買い求めのお店、又は下記へお問い合わせ下さい。

トランシーノ相談室
0120-013-416

受付時間9:00～17:00(土、日、祝日を除く)



第一三共ヘルスケア株式会社

〒103-8234 東京都中央区日本橋 3-14-10